

川上ダム通信

2020
6
月号



Vol. 178
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!
https://twitter.com/jwa_kawakami



ご意見・ご感想はこちらへ
e-mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

ダムの管理に備えて

川上ダム管理課発足!



お願ひします

令和2年4月1日、管理課が発足しました。初代課員となった筆者からダム管理の目的と、建設中のダムにおける管理課が担当する業務について紹介します。

ダムが完成すると必ず「ダム管理所」(国、自治体、法人によって名称は異なります)を組織します。ダム管理所は建設されたダムの目的に沿って、ダムの機能を十分発揮できるように、法令と規則に基づいて、ダム堤体と設備の点検、ダム放流の操作、事業用地の保全、関係者との調整、予算確保など様々な業務を行います。

当建設所では将来のダム管理を考えながらダム建設事業を進めてまいりましたが、工事の完成が近づいてきたことから、ダム管理所を発足する準備を本格化させることとなりました。

ダムの工事が完了すると、ダムの完成を確認するために実際に水を貯める試験湛水^{たんすい}を開始します。

この試験湛水において管理課では、ダムの点検、ダムにかかる水圧の計測、貯水池斜面の監視、ダムから放流する水量の調節を毎日行います。そのために現在の管理課では、ダムの目標水位の計画、ダムからの放流を安全に行うためのルール^{ルール}の作成、サイレンに関する立札の配置計画、ダム計測の立案を行っています。

試験湛水の結果によってダムの完成が確認されるとダムの管理を開始し、いよいよダムが機能を発揮します。

試験湛水終了からダム管理開始へ円滑に移行するために、ダム管理の開始に必要な手続きや管理システムの導入の準備を進めています。

最後に、発足時のメンバー紹介をさせていただきます。課員は管理課長(調査設計課長を兼務)と筆者の2人で構成され調査設計課の職員と席を並べ、業務を行っています。川上ダムの令和5年度からの管理開始を目指し、地元地域との信頼関係を深め、関係機関との連携を積極的に図るとともに、着実に建設事業を進めてまいります。

【管理課 前田博美】



初代管理課集合写真
左：大島課長 右：筆者

新副所長（技術）からのご挨拶

このたび、副所長としてまいりました松村貴義（まつむらたかよし）と申します。川上ダムで勤務させていただくのは6年ぶりとなります。どうぞよろしくお願いいたします。前回の在任中（平成23年4月から平成25年3月まで）は、調査設計課長として各種調査や事業計画の精査等を担当し、地域の皆さまにも大変お世話になりました。「ふれあいフェスタ in 青山」や「桐ヶ丘フェスタ」などの楽しい思い出もございますが、平成25年台風18号の下流巡視中に木津川の堤防決壊を目の当たりにし、早くダムを完成させなければと、自分たちの責任を強く感じたことが、鮮明な記憶として残っています。

皆さまのご理解とご協力をいただき、川上ダム建設は順調に進んでおります。何よりも、早く川上ダムを完成させ、地域の皆さまの安全・安心につなげることが、私たちの一番の使命と考えております。

新型コロナウイルスの感染防止のため、現場見学を制限させていただいていることは本当に心苦しいのですが、ダム建設工事の状況は川上ダムのHPにてリアルタイムでご覧いただけます。

事務所のスタッフ一丸となって、精一杯努力してまいりますので、引き続き、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

【副所長（技術） 松村貴義】



～令和2年度 労働安全重点事項～



毎日確認現場の状況 きのうちと同じ職場はない！

4月22日（水）、令和2年度第1回川上ダム安全協議会を新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、資料配付による開催としました。その中で、今年度の労働安全重点事項を「毎日確認現場の状況 きのうちと同じ職場はない！」と決定しました。「建設現場は日々進捗しており、現場状況は変化しているため現場の状況に慣れて注意力を低下させないために、毎日新たな視点で点検を行い、安全管理に努める」という主旨です。労働安全重点事項は、スローガンや趣旨を作業仲間同士で共有することより労働災害の防止を図るために年に一度定めております。

当建設所では、「事業による労働災害を防止し、業務を安全かつ円滑に推進する」ために、安全協議会を定期的に行い、工事現場において危険な箇所や作業員が危険な行動をとっていないかなどの確認を行う「安全パトロール」を中心に、労働安全重点事項の設定、安全に関する討議・情報交換などを行っています。現在、新型コロナウイルス対策として事務所や工事現場において3密対策を徹底するなど、細心の注意をはらいながら事業を進めております。今後も引き続き安全第一に、川上ダムが完成できるよう努めてまいります。

【工務課 山田 聖】



安全第一に、工事は日々進捗しています！

利水放流管の製作から

コンクリートに埋設されるまで



利水放流管は、ダムに貯めた水を下流に放流するための設備の一つで、主に伊賀市の水道用水を供給するために使用されます。

当建設所においても新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、一般者見学会の一時中止や『WELCOME川上ダム^{みてちょーだい}観眺台』の閉鎖などにも取り組んでいるところで、見学会の一時中止に伴い川上ダムに接していただく機会が少なくなったため、ダム放流設備の利水放流管がどのような工程で設置されているかをご紹介します。

利水放流管は、直径は最も大きい箇所です約1.8mあります。工場では、厚さ9mmのステンレスの板を丸めて、直線形やY字形、曲形といった様々な形の管を製作します。

工場で作られた管は、トレーラーによってダムの直上流に設けられた仮組立ヤードに運ばれ、溶接によって約18mの管となります。

これらの管は、タワークレーンによってダム堤体上に搬入・設置され、全長約96mの管になるまでつなぎあわせ、その後、コンクリートによって埋設されます。

来月号では、常用洪水吐きの工程についてご紹介します。



利水放流管の設置完了状況（全景）



Y字形・曲形の管

★利水放流管の工程★

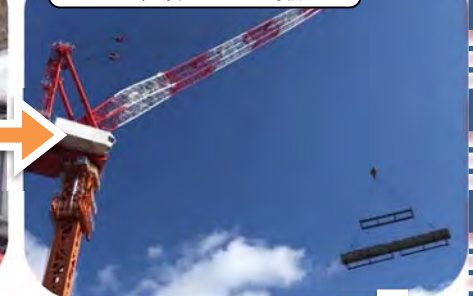
①工場製作の管



②仮組立ヤードでの溶接



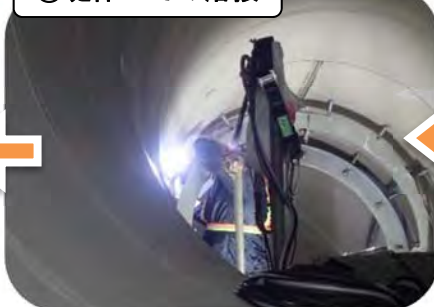
③タワークレーンによる堤体上への搬入



⑥コンクリート埋設



⑤堤体上での溶接



④堤体上に設置



地中の深い部分で基礎処理が進んでいます！

基礎処理とは、基礎岩盤に直径5cmほどの穴を掘削し、そこからセメントミルクを注入し岩盤の隙間を埋めるもので、ダムの安全性や遮水性を確保するための重要な工事です。

現在は「月刊！川上ダムのいま VOL. 19（2020年1月号）」で紹介したコンソリデーショングラウチングに加えて、地中深い部分の遮水性改良を目的とするカーテングラウチングをダムの左岸から実施しています。カーテングラウチングでは、ダム堤体高と同じ深さ（約84m）の穴を掘削し改良する箇所もあります。

基礎処理の進捗率は4月末時点で約15%であり、今後施工がますます本格化します。安全・安心なダムの建設に向けて、堤体の打設とともに基礎処理を着実に進めます。



掘削のようす（4月27日撮影）



ダム左岸に設置されている管理室のようす

基礎処理は施工状況を目視できないので、ダム左岸に設置されている管理室で、セメントミルクの注入量や注入圧力などを制御し、改良状況をモニタリングしています。



ダムの人

～本体工事の進捗状況～

■ :完了 ■ :施工中 ■ :未実施

転流工		基礎掘削	堤体打設・基礎処理	試験湛水	完成!
H30.4▼ 仮排水路 トンネル	H30.9▼ 仮締切工	H31.4▼	▼現在 堤体打設進捗率 41.3% 基礎処理進捗率 14.9% (4月末時点)	▼R3.10	(R5.3予定)

【工事課 渡邊 峻】

新型コロナウイルス感染拡大防止措置について

【川上ダム工事現場見学会の中止について】

5月に予定していましたが、工事現場見学会を中止させていただき、ご迷惑をおかけしました。

【観眺台の閉鎖について】

2月28日（金）から当面の間、一時閉鎖しております。ご理解いただきますようお願いいたします。詳しくは当建設所HPをご確認ください。工事の様子はHPのライブカメラや公式Twitterを通して配信しているので、是非ご覧ください！

川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、見学会を予定しています。

【第19回】令和2年6月21日（日）

【第20回】令和2年7月19日（日）

（【第20回】は、6月1日より募集開始します！）

6月以降の現場見学会については、感染症対策を行い開催にむけて調整をしていますが、状況により中止する場合があります。



編集後記

GWを皆さまは「ステイホーム」でいかがお過ごしでしたか？私はミラーレスカメラをネットで購入しましたので、来たる外出にむけて、手元にあったお酒やグラスを被写体にしてお洒落な写真を撮れるように修行(?)をしておりました。

三重県では新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除されましたが、油断はできません。梅雨に近づき体調を崩しやすくなりますので、引き続き感染症対策に取り組んでいきましょう。



【広報誌発行事務局】

編集長 洲上（所長）
デスク 中野（工務課長） 堀口（総務課長）
記者 山口（総務課） 近藤（用地課）
北爪（調査設計課） 戎谷（環境課）
渡邊（工事課） 下園（機械課）
山田（工務課）